

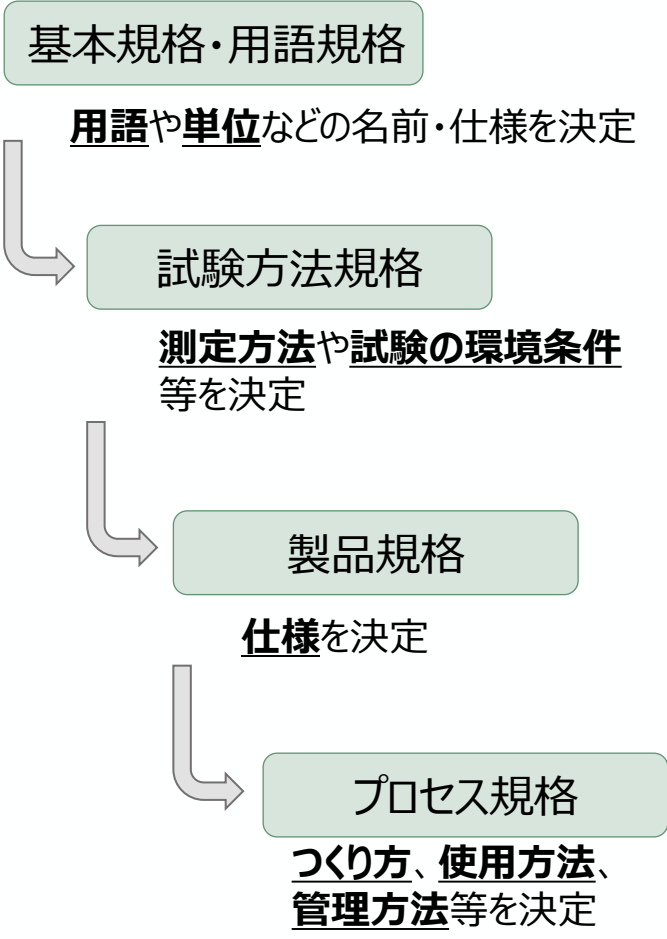
規格の分類

「規格の種類」は、ISO／IECのガイドで分類。それに基づくJIS Z 8002では規格を8つに分類している。

規格の8分類のうち、基本形となるのが以下①～⑤となる。

①基本規格	●用語、記号、単位、標準数など提供範囲が広い分野にわたる規格、または特定の分野についての全体的な既述事項を持つ規格。
②用語規格	●用語に関する規格であって、通常、用語の定義を伴い、時には説明のための備考、図解、例などを伴うもの。
③試験方法規格	●試験方法に関する規格であって、時にはサンプリング、統計的方法の使用、試験順序などのような試験に関する記述事項を含むもの。 ●例えば、長さを測る時に、気温や湿度の設定が無ければ同じ条件で比較することはできない。こうした条件設定も、試験方法規格となる。 ●多くの場合、基本規格・用語規格による用語・単位の存在が前提となる。
④製品規格	●目的適合性を確実に果たすために、製品又は製品群が満たさなければならない要求事項（形、色、機能、性能等）を規定する規格。 ●「製品のあるべき値」を記述するためには、試験方法規格（＝あるべき値の計り方）が必須となる。
⑤プロセス規格	●目的適合性を確実に果たすために、製造方法、管理方法等、プロセスが満たされなければならないポイントを記述した規格。 ●「マネジメントシステム規格」も包含すると整理できる。

規格の種類の基本的な包含関係



※「目的適合性を確実に果たすために」とは、意識すれば「試験方法や製品やプロセスを、規格どおりにするために」というニュアンスとなる。